

第9回 第二期武蔵野市市民活動促進基本計画策定委員会 議事録

- ・日 時 令和4年2月17日(木曜日)午後6時30分～8時30分
- ・場 所 武蔵野市役所 813会議室
- ・出席者 朝岡委員長、見城委員、千種委員、町田委員、森副委員長、渡邊委員、市川委員、小島委員(名簿順、敬称略)(森副委員長、渡邊委員、市川委員はオンライン参加)
- ・傍聴者 2名
- ・欠席者 1名

1 開会

【委員長】ただ今より、第9回 第二期武蔵野市市民活動促進基本計画策定委員会を開催します。

【事務局】配布資料の確認

- ・資料1 パブリックコメント結果確認資料 (抜粋)
- ・資料2 第二期武蔵野市市民活動促進基本計画 (案)

2 議事

- (1) 計画案について
- (2) その他

【委員長】前回会議の進行について傍聴人からご意見をいただきましたが、1つ1つの文言について事前に読んで意見を言うとしても、なかなか難しいです。時間が掛りましたが、事務局説明を聞きながら1つ1つを確認して進めました。大変煩雑ではありますが、民主的な方法として、あえてこういった方法で進めました。本日は、資料2の文言確認を進め、これまでの委員会で保留になっていた事項の扱いについて最初に確認していただきます。事務局より報告していただいて、文言修正に至らない件については、委員会の記録として形に残して引き継げればと思います。計画の修正といった形で落とし込めるものは、この場で確認して変更します。そのうえで、前回全てのパブリックコメントについて確認していただき、その中からいくつか事務局から文言修正の提案をいただきました。これらについて順番に提案していただきます。以上、二段構えで進めたいと思います。最初に事務局より保留事項について、提案と合わせて説明をお願いします。

【事務局】(資料3に基づいて説明)

【委員長】保留事項の扱いについて事務局より原案の説明がありました。その上で1つ1つ意見を伺っていきます。資料3の「市民活動をコミュニティ活動と言い換えられるか」についてです。これは武蔵野市にとって極めてデリケートな問題だと理解しています。戦後に町内会を復活させずに、あえてコミュニティといった言葉を使ってきた経緯があります。そういった点では、もう少しみなさんの間で議論していただいた方が良いと考えます。結論から申し上げますと、今回の計画の中でも全部または一部を言い換えるべきかという論点があったと記録を残し、今後に引き継いではどうかと思います。この取扱いについてご意見ををお願いします。オンラインで参加の方も遠慮なくご意見ください。2点目について事務局の説明では、文言修正が必要ないとの提案でしたが、市民活動を組織や団体のものと捉える傾向が我々には残っているため、あえて個人の活動を尊重していくという非常に重要な論点です。そのため、組織や団体と並列して個人の活動ニーズを把握し、支持していく、といった論点については、今後の課題として引継ぎ、計画には反映させませんが論点として残るように示したいと思います。いかがでしょうか。

【C委員】報告書の中に明記するのですか。

【委員長】別紙にするなど、どういった体裁にするかは事務局に考えていただきます。計画の中に入れずに補足資料などで示すか、良い案があれば考えたいと思います。

【C委員】最後に「残された課題」というセクションを設ける選択肢を提案します。個人の活動をどう扱

うかについては、これからの社会における市民活動の重要な論点になってくると思います。今回は十分に議論できなかったが、今後しっかり扱っていく必要があることを強調する方がいいと考えます。

【委員長】この保留事項を中心とした残された課題について、こういった形で計画と整合性を付けるか次回までに議論し、提案して決めたいと思いますので、次回まで検討させてください。続いて第7回委員会の内容で、私益・公益の扱いについてです。本計画で初めて出てきた項目ではなく、既存の計画に出ているものを引用する形です。ここについては考え方を否定するものではないということかと思いますが、いかがでしょうか。それから自立の考え方についてです。こちらについては計画の6ページに反映させる提案でした。自立の説明中で「自ら確保できる資源」を「自ら調達できる資源」に修正することにより、主旨が伝わるのではないかとといった提案です。副委員長いかがですか。

【副委員長】私は、クラウドファンディングを例にとっても今は、自らの資材を投入するだけでなく、人・手数・お金等いろいろな事を調達して資源を活用できるので、この表現で進めていただければと思います。

【委員長】委員のみなさんいかがでしょうか。

(異議なし)

【委員長】自立の説明として「自ら調達できる資源」に修正いたします。それから市民活動のステージについてです。こちらについては、少し悩ましい部分がありますが、事務局からは、このままで良いのではという提案でした。この図も本計画で初めて出てきた図ではなく、以前の計画を引き継いでいます。大きな変更を加える具体的な理由、修正案がない限り、このまま使うのが適切だと思います。仮に1つだけ修正する余地があるとするならば「ステージ」を別の言い方にすると意味合いが違ってくると思います。ステージは、発展段階といった意味があるため、そういったニュアンスではないと考えます。他の委員のご意見も聞きたいですが、まず問題提起された副委員長の発言からお願いします。

【副委員長】問題提起した時点と気持ちは変わっていませんが、市民活動の中には、発展を目指している活動だけではなく、単発のものもあり、発展だけではない活動もあるため、どちらが良い・悪いではなく、「ステージ」という言葉は次のステップへ上がっていく印象を与えたいと思います。例えばステージを「市民活動の要素」として考えれば、成長していく意味もあれば、終了を選択する意味もあると捉えることができます。ただ、コンセンサスが得られないようなら、変更せずに進めても良いと思います。

【D委員】私もここは気になっています。ステージという言葉だけについて議論されていますが、基本施策2の文章中に「成長・発展を促し、将来にわたり持続可能なものとしていくため」という表現があります。この部分が、副委員長のおっしゃるステージの意味だと思います。市民活動の主体の人たちが、自分たちの活動を将来に渡り持続可能にしていこうとは必ずしも考えていないと思います。そういった団体や個人がいる中で、これらを書き込むということが気になっています。

【委員長】他の委員のご意見は、いかがですか。

【A委員】市民活動の中で培われたものが、個人の中で次につながっていくというニュアンスを捉えないと意味がありません。そもそも発展させるつもりがないということになると、トータルの流れで考えたときに我々の議論の意義が失われてしまいます。

【委員長】D委員のご意見は、必ずしも持続可能性を目的にした団体、活動だけではないといったことだと思います。市民活動のステージについて他の方のご意見あれば、いかがでしょうか。

【F委員】ステージという表現が非常に難しいと感じますが、前へ進めていく考え方は良いと思います。

【C委員】先ほどの話に戻ってしまいますが、団体として継続性を目指す市民活動があれば、個人ベースで単発的に行われる市民活動もあります。やはり基本計画としては、後者の方も視野に入れているということは何らかの形で示したほうが良いと思うので、残された課題の中へ個人ベース、一時的な市民活動も今後支援していくといった文言を入れることも、1つの考え方だと思います。

【委員長】ご意見を聞いていると、あまり評判が良くないので、削除したことを残された課題として書き残すのはいかがでしょうか。なぜこれが書かれているかと考えると、施策を進めるために市民活動のステージを仮定し、ステージに合わせて施策や事業をきめ細かく実施して対応していくという行政のための整理です。ただ、市民活動の実態を否定しているようにも読めてしまうため、みなさんが違和感を持つこと

も理解できます。市民活動の促進をきめ細かく行うことについては、他の部分の記述でも十分対応出来る
と判断します。別の計画にあるものをシフトさせている点と、本計画では否定的なご意見が多いことも踏
まえ、削除することが私の提案ですが、いかがでしょうか。

【E委員】委員長がおっしゃったように、これは行政では必要だと思っています。なかなか市民活動のイ
メージが出来ないところを表現していたと思っています。

【事務局】E委員からのご意見にありましたが、行政サイドで施策を進めていくうえで画一的ではなく、
活動の状況に応じて、多様性に応じてきめ細かな対応していくべきだということを示すためにステージと
いう言葉を用いました。ただ、この図表2がイメージを押し付けている感じを与えられ思考するため、
図表2は削除してよいのではないかと思います。個々の活動に応じて、または対象の多様性に応じた施
策といった記載は、どこかに必要だと感じています。先ほどD委員からご指摘のあった33ページ基本施
策2「市民活動の多様性とステージにあわせた支援が必要となります。」については、行政側がきめ細か
く相手に応じた支援や協働をしていきたいという考えからです。「ステージ」という文言を、例えば「状
況」等の一般的な言葉に言い換えて何かしら主旨が残せないかと考えています。

【委員長】私は、削除と考えていましたが、行政としては残したいとのご意見でした。私は「ステージ」
を別の言葉に言い換えるとなると、他の箇所でもステージと記載があるため削除することを提案しました。
この件について決着を付けないといけなため、次の提案を出します。(2)は図表を削除するだけでは
収まりません。よって2段落目を(3)の末尾に付けます。ただし(2)の2段落部分にある「この市民
活動のステージを念頭に置き」といった部分だけを削除し移動させます。まとめると(3)1段落目が
「市民活動の発展には」と始まり「学びの機会が一層重要となってきます。」で終わり、2段落目に「市
では活動の主体の個性に応じて、どのような特性やニーズを有するのかを意識しながら、施策・事業を
展開していく必要があります。」と引き取る形でまとめると(2)部分が無くても、きめ細やかな支援が
はつきりと証明されているので、良いと思います。こちらの第2案は、いかがでしょうか。

【副委員長】ステージという言葉に違和感があります。委員長の第2案のように、何かしら文字を載せた
ほうが良いということであれば、それが良いですし、図ではなく表にするのも良いと思います。

【D委員】今の段階で文言、図、表を変更することが難しいのであれば、どこかに補足等で、委員が違和
感を持っているということを組み込んでいただけると良いと思います。私は、丁寧に市が進めていきたい
という思いがあつてこういった形になった、という点が入っていれば良いと思っています。

【C委員】副委員長とD委員のご意見の主旨としては、(2)は残した上でということですか。それとも
削除するのですか。

【副委員長】(2)を無くして「市では活動の主体の個性に応じて、どのような特性やニーズを有する
のかを意識しながら、施策・事業を展開していく必要があります。」を付け加える委員長の第2案です。
それからD委員のご意見にあったように、この様な議論があつたことを残す方が良いと思います。

【D委員】まだ、どこまで削除とは読み込んでいません。

【委員長】次々と案がありますが、議論すればするほど、話が混乱してしまいます。私としては、これの
図表があることによって混乱を招いているので、組み替えてしまうとなると、最初に出された計画との整
合性が問われてしまいます。この図表について違和感を持つといった意見表明しかないので、計画上で、
ステージを置き換えるのも難しいと思います。だからといって、計画上に「ステージという言葉に違和感
がある」と書きこむことも矛盾してしまいます。この図表に対して強い違和感があり、微修正するレベル
ではないといった表明をするしかないと考えます。最終的な文章のつながり等の文言修正は、次回までの
宿題にさせてください。考え方としては(2)の2段落目の文言を(3)へ移動させる。その代わり(2)
については削除します。これについて意見がある方は、お願いします。

【E委員】(3)に入れるとなると、学びの支援だけということになってしまう気がするので、もう少し
事務局とご検討いただきたいと改めて思いました。

【委員長】文言の調整は次回までさせていただきますが、考え方については(2)2段落目を(3)へ入
れるということです。もしかしたら(3)のタイトルの修正も必要になるかもしれません。これも踏まえ
て検討させてください。

【委員長】では、保留事項「市民活動のステージ」については、調整させていただきます。3ページ目に関しては、個人と団体をどう位置付けるかにリンクした部分があるため、考え方としては、否定せずに記載する形で進めたいと思います。

<休憩>

【委員長】ここからは、計画のページ順にパブリックコメントについて、どのように反映させ、修正するかご意見をいただきます。事務局から順番に説明をお願いします。

【事務局】（資料2に基づいて説明）

【委員長】章の項目が多すぎるので、1つ1つ区切って進めさせてください。3ページをご覧ください。中段から下段に「分野ごとの主な市民活動団体の例」があります。問題は、分野の括り方についてです。この中にまちづくりが無いといったご意見でした。表の4段目を「コミュニティ・まちづくり」といった文言を入れたいといった提案です。よろしいでしょうか。異論がないので、このように修正します。

【事務局】（資料2に基づいて説明）

【委員長】分かりにくかったかもしれませんが、資料2をよく読むと、修正と関わっているパブリックコメントNo. 1、No. 26、No. 27、No. 29、No. 30、No. S2の6つの意見を3か所の修正で取り込む提案です。まずはパブリックコメントNo. 27を受けた修正として資料2の6ページ（3）1段落目へ「地域や社会全体の課題を学ぶとともに」を入れます。それからNo. 1、No. 26、No. 29、No. S2を受けた修正として（3）2段落目の最後3行目「その拠点となるコミュニティセンターや武蔵野プレイス、市民会館等の機能の充実が求められます。」を加筆しました。さらにパブリックコメントNo. 1、No. 30を受けた修正として（3）3段落目「さらに、市民活動、児童青少年育成、学校教育等との連携を通して、子ども・若者が市民活動について体験的に学べるような機会を創出する必要があります。それにより、子ども・若者も市民活動に抵抗感なく積極的に参加できるような機運を高めていきます。」としました。これは、子どもの視点を意識した修正です。6ページ目は、先ほど議論した図表を除いた3か所の加筆修正を行うといった提案です。修正についてご意見を伺いたいと思います。

【C委員】提案です。網が掛かっている部分の下から3行目を「子ども・若者が市民活動を体験的に学び、市民活動の担い手として成長できる」としては、いかがでしょうか。

【委員長】6ページ下から2行目「子ども・若者が市民活動について体験的に学べるような機会を」の部分を「子ども・若者が市民活動を体験的に学び、市民活動の担い手として成長できるような機会を創出する」と修正してはいかがかのご意見でした。他の委員のみなさんいかがでしょうか。

【副委員長】異論はないですが、子どもについては意見交換会で確かに意見が出ていました。実際に市としてこの活動をやっていく方向性なのか確認を取りたいです。

【事務局】資料31ページをご覧ください。こちらは、後ほど説明がある基本施策1-1「②教育機関等と連携したボランティア意識の醸成」につながる話です。

【副委員長】②③に追記いただいたところですか。

【事務局】そうです。特に「②教育機関等と連携したボランティア意識の醸成」は、既に行っている事業をイメージしながらの記述です。中高生向けの夏休みボランティア体験事業やインターン事業などがあります。このような事業の充実に向けた検討はできていると考えています。

【副委員長】市民活動に子どもたちが参加出来るようにするための促進をしていくという表記なので、夏ボランティアは少しニュアンスが違うようにも感じました。

【委員長】基本計画に全て書き込むべきかといった問題があります。基本計画の性格上、基本計画に記載がないものについての実施は非常に難しいです。掲載しているけれど具体化しきれていないものは、可能性があります。私は、C委員の意見に賛成です。若者・子どもというのは客体、受け手ではなく、積極的に市民活動を創出し主体的に担っていくといった考えが必要です。そういった意味では、後ろのページとの整合性は問われますが、6ページにあえて書くことによって、具体的な事業の柱となると思います。よって、ここで、どう落とし込むかについての議論は避けたほうが良いと思います。むしろ踏み込んだ提案だと思うので、これを生かして実際の事業の企画の時に提案をしていく方向で良いと思います。

【E委員】プレイス等、同じ施設内にあって地下2階（青少年フロア）にいる子たちが、何かのきっかけで

上の階に来るといった可能性も考えられると思っているので、賛成です。

【委員長】話を戻すと、考え方として本計画に言葉が載ることに積極性があるので、C委員のご提案を踏まえ、事務局の意見に更に加筆修正する形で変更したいと思います。6ページの修正については、よろしいでしょうか。

【D委員】6ページ「地域や社会全体の課題を学ぶとともに」の文言が入るのは、とてもいいと思いますが、パブリックコメントNo. 107を受けて34ページの表②に「・環境、福祉、国際協力、青少年育成、男女平等、SDGs など、地域や社会全体のさまざまな課題を学ぶ場を充実させます。」と具体的に記載されています。この様に6ページにも具体的な記載を入れるのはいかがでしょうか。

【委員長】ご指摘いただいた考え方でもできますが、実は計画の章立ての性格から考えると6ページは「第2章 基本的な考え方と目標」なので、基本的な考えを提示することがポイントです。これを踏まえて「第4章 施策の体系」へ落とし込んでいきます。そうすると、後ろから遡って前に持って行くと、かなりの変更になります。第2章では基本的な考えの枠組みだけを提示し、後の章で広げていけば良いと考えます。いかがでしょうか。

【D委員】分かりました。基本的な考え方を具体的にした方がより効果があると考えて提案しましたが、委員長のご意見もよく分かったので、大丈夫です。

【委員長】6ページについては以上で、C委員の修正案も含めてご了解いただいたことにします。事務局、次の説明をお願いします。

【事務局】（資料2に基づいて説明）

【委員長】8ページ上部の枠部分に文言を追加したいとの提案でした。2行目を「住みよい安心なまちづくりに、協働を通して」とし、この「協働を通して」の追記によってパブリックコメントNo. 38、No. S3を踏まえた修正にしたいといった内容でした。これについてご意見ををお願いします。

【E委員】このままでも構わないのですが、前段部分も協働について記載しているので、同じ内容を重ねて記載しているように感じて、若干長いと思います。入ってなくても良いと思います。

【F委員】無理して「協働」を入れなくても良いと思います。

【C委員】私も、くどいという印象です。

【委員長】残したいという意見は、ありますか。あえて「協働」を入れずに、パブリックコメントの回答としては、前段部分に協働について具体的に書かれているので十分に反映されていますと表現する提案です。よろしいでしょうか。

【事務局】（資料2に基づいて説明）

【委員長】質問ですが、重点施策に対する評価の元は、どこにありますか。

【事務局】約1年前の市民活動推進委員会で取りまとめたものを転記しました。

【委員長】パブリックコメントNo. 42を受けて重点施策と重なるものについては、市民活動推進委員会の答申を受けてそのまま10ページ、12ページへそれぞれ追記したいといった提案です。よって文言については議論する余地はないので、みなさまには、書き込んで良いかを議論をお願いします。

【副委員長】委員会の評価という文字で載りますか。

【委員長】出典がはっきりしないと困るので、10ページ、12ページについては、1年前の市民活動推進委員会の評価を記載していると分かるようお願いします。

【事務局】（資料2に基づいて説明）

【委員長】これは要するに27ページ、28ページを付け加えたのですか。これの元になっているのが、パブリックコメントNo. 3、4、5ということですが、この2ページは、どこから引いてきたのですか。議論するにあたり、この点が分からないといけません。

【事務局】市民活動団体実態調査結果や、委員会での議論に基づいてまとめています。一度ご確認いただいて修正すべき点は修正したいと考えています。

【委員長】27～28ページは、初見なので委員のみなさまに一言一句ご確認いただいてご意見をいただいた方が良いと思います。ただし時間がかかるので、本日時間があるようであれば、この部分に戻って改めて議論します。先に別の項目の議論を優先したいと思います。27～28ページは、保留にして先へ進

めます。よろしいでしょうか。

【C委員】「3. 課題のまとめ」は、市民活動団体実態調査結果から導き出された課題ですか、またはアンケートの課題も含めていますか。

【事務局】両者です。

【C委員】目次に「3. 課題のまとめ」が、ないので付け加える必要があると思いますが、いかがでしょうか。

【事務局】記載します。

【委員長】これについては、そのまま引用した訳ではないので、表現について、書き起こしている部分が必要かどうかも含めしっかりと議論したいと思います。29ページ冒頭部分「第4章 施策の内容」に付け加えていただいています。ただ文言のチェックをすぐには出来ませんが、基本的には事務局の修正を受けて、この3行を入れるということではよろしいでしょうか。

【事務局】（資料2に基づいて説明）

【委員長】31ページ1-1②部分2か所、③部分2か所の修正を加えたといった提案です。②1段落目「など」を加える提案です。②2段落目に「子ども・若者が自身の体験や関心ごとを通じて市民活動を学び・考える機会を創出し、市民活動への参加意欲を醸成します。」といった項目を追加しました。③1段落目2行「条件に合う」の文言を削除します。③4段落目を追記して「子ども・若者が」の文言を追加しました。以上4点の修正を行ってよろしいでしょうか。

【A委員】②と③の最後の段落を、あえて分けていると思いますが「教育機関との連携」という部分を他のところに入れ込んでも良いと思います。

【委員長】②2段落目と③4段落目を書き分けている様ですが、違いが分からないとのご質問です。これは、まとめた方が良いといったご意見ですか。

【A委員】「参加意欲を醸成」と「積極的参加を促進します」の言い換えについてです。

【委員長】A委員の気持ちは分かります。先ほどC委員のご提案にあった点を具体化する意義で、あえて③4段目をもう少しはっきりさせるために、例えば「子ども・若者が積極的に市民活動の担い手となりうる活動を支援します」といった文言にしては、いかがでしょうか。表現は、次回考えさせてください。

【A委員】前段を受けてということですか。

【委員長】そうです。生煮えの表現ですが、次へ進めます。

【事務局】（資料2に基づいて説明）

【委員長】パブリックコメントNo. 78、No. 100の両方を受けて同じような修正を2か所で行うといった提案です。32ページ①2段落目に「市民会館」を追加し、33ページ2-2②にも「市民会館」を追記します。

【事務局】同じような形で35ページ、3-1の1段落目も「市民会館」を記載します。

【委員長】32、33、35ページの3か所へ「市民会館」を追記する提案でした。こちらでよろしいですか。

【事務局】（資料2に基づいて基本施策2-3①について説明）

【事務局】改めてですが、「かつ透明、公平」という文言はあえて言わなくても良いかと思います。現状でも透明性・公平性を確保しています。記載してしまうと、現在は透明・公平でないというニュアンスで受け取られてしまう可能性があると感じました。

【C委員】やはり透明性・公平性というのは、中立公平であるかといった点からでてきているので、残してもいいのではないかと思います。その代わり「促進する」「更に進める」など、今もやっているというニュアンスの表現を追記すれば、今指摘のあった問題はクリアされると思います。

【委員長】提案としては、基本的に生かした上で、1行目を「より効果的かつ透明、公平な財政支援を促進する観点から」としてはいかがでしょうか。

【事務局】（資料2に基づいて基本施策2-4②について説明）

【委員長】先ほどD委員のご発言にもあった部分です。積極的に踏み込んだ具体的な提案になっています。事務局の修正案でよろしいでしょうか。「男女平等」といった表現でよいか質問したいです。LGBTの問題

もあるため「ジェンダー平等」を使うのはいかがでしょうか。「男女」というと時代遅れに感じます。

【E委員】市の計画が「男女平等推進計画」という名称です。ジェンダーという言葉も用いていますが、男女平等の精神をもって横串を通して欲しいという観点から「男女」を使っています。

【委員長】憲法由来の文言なので簡単に修正できませんが、委員のご異論がなければ「ジェンダー平等」としてはいかがでしょうか。

【D委員】「ジェンダー平等」の文言は、SDGsにも入っているので、あえて直さなくてもよいと思います。男女という表現が問題あるのであれば「男女共同参画」でもよいかと思います。

【委員長】世の中の論調では、男女と区分すること自体が問題だとなっているので、「ジェンダー」で括った方がいかもしれません。確かにSDGsにも入っていますが、ピンとこない方も多いと思います。行政の文章に「ジェンダー」という記載がないというご意見も理解できますが、なぜ「男女」なのか質問があった際、答えに窮してしまう危険性があると考えます。

【E委員】「男女平等」はSDGsにも入っているので委員長のご提案の表現でよいと思います。

【委員長】質問を受けたときに説明できる方がよいと考えるため、「ジェンダー平等」に書き換えるといった提案でよろしいですか。

【事務局】（資料2に基づいて27～28ページについて説明）

【委員長】文言修正には至らないけれど、いただいたご意見についての紹介でした。先ほど保留にしていた27、28ページについてです。私の意見としては、入れないという案でした。2回の議論の中で出典元と照らし合わせながらチェックしなくてははいけません。それに先ほどの残された課題も議論する時間がありません。3番のパブリックコメントが3章と4章の違いが分からないという意見でした。3章の構成自体が、基本施策ごとに触れた後にアンケート結果の要約が入っているので、分かりにくくなっています。構成そのものを踏まえて考えると、パブリックコメントの意見を反映させて2ページ増やす必要はないのではないかと考えますが、もしご意見があれば議論したいと思います。

【副委員長】内容自体が、他と重なる要素が多いと感じるので、必須項目ではないと思います。

【A委員】今は判断が難しいです。我々が早急に結論を出せないと思います。

【F委員】私は、すっきりさせたいです。

【C委員】難しいところです。

【委員長】オンラインで参加の委員の中で、積極的に入れるべきだと考える方ご発言ください。決してパブリックコメントを否定する訳ではありませんが、基本施策の評価、アンケート評価も入っているので、あえて入れなくてもよいと考えます。

【事務局】削除するのは簡単ですが、一回読んでいただいて次回削除を判断するのは、いかがでしょうか。

【委員長】今回は、矛盾のない状態で市長に報告するために、2時間の会議の中で、事務局が計画案を読み上げて、全委員が確認するという形で進めたいと考えています。そこで改めて「課題のまとめ」について議論するとなると1時間位を要します。そうすると修正のため、原則的にはもう一度会議を開かないとなりません。

【事務局】事務局の課題意識としては、「成果と課題」については、昨年度までの推進委員会がまとめた課題と評価を載せており、それからアンケート調査結果を載せています。それらの要素を踏まえ、また今年度の本委員会としての発言を踏まえた課題の総括的な部分が、書き込めていなかったという反省点がありました。本来であれば、もう少し早くお示しすべき部分だったと考えていますが、こちらにまとめました。

【委員長】考え方は賛成ですが、構成上は問題があります。第3章2にアンケート要約を載せたことが問題です。本来アンケートは、最後に掲載するものです。この段階では構成を変更できないので、分かりづらさが残りますが、新たに2ページにわたる文章を審議する時間がないということで、修正を加えないという提案をしました。

【D委員】パブリックコメントの意見にあるように、課題がはっきりしていないと前に進んでいく力が違ってくる気がします。事務局がまとめて考えたという点を評価したいと思いました。策定委員として議論が必要だから入れないといった点は理解できますが、計画が出来上がったときに反映されていないと捉え

られてしまう事については、いかがかなと思います。

【委員長】大事なご意見だと思います。ただ、「成果と課題」というタイトルの章を更にまとめることは、アンケートの結果を加味して更に要約するということであり、現時点で課題を書いていない訳ではありません。課題も書いてあり、一定の評価もされているので、これ以上課題を載せると二重三重に課題をまとめていることになってしまいます。本当にやるならもう1回委員会を開催すべきだと思います。事務局として、もう1回会議を増やしてもよいという判断であれば、27、28ページの追加について検討できると思います。

【事務局】もう1回委員会の開催について、委員の皆様の日程調整が可能か、この場で確認させてください。

【委員長】事務局から会議の回数を増やす可能性があるとのことですが、賛成であれば継続審議を行い、次回、事務局から元の資料について説明をいただき議論したいと思います。いかがでしょうか。

【C委員】賛成です。事務局から指摘のあった33ページ、基本施策2の「市民活動をより活性化し、自律性を高め、成長・発展を促し、将来にわたり持続可能なものとしていくため、市民活動の多様性とステージにあわせた支援が必要となります。」についても、前段を書き直した関係で、この部分が容易ではない気がするので、検討してはいかがでしょうか。

【委員長】では会議を増やすことを前提として27～28ページの「課題のまとめ」について改めて議論します。併せてC委員からご指摘のあった33ページ基本施策2の前書き部分についてもご議論します。もし時間が許すようでしたら保留にした部分も議論します。こういった形でよろしいですか。

(合意)

【A委員】確認です。27～28ページは理解していますが、9ページ～14ページの書き方も確認が必要だと思いますが、いかがでしょうか。

【委員長】議論の進め方としてはご指摘の通りですが、9～14ページは確定しているので、それを前提に後ろの部分について議論します。ただし、事務局から、どの部分を受けて作ったのかを説明していただきたいです。よろしいですか。今日は、日程調整だけして終わりたいと思います。

3 事務連絡

【事務局】日程調整についてです。次回委員会を3/8（火）18時半から予定していました。そちらを通常通り開かせていただきます。その後にもう1回増やしたいと考えています。

【委員長】10日は、いかがでしょうか。

(合意)

【委員長】あまり余裕がありませんが、次回は3/8（火）、その次を3/10（木）18時半から開催ということでお願いいたします。

4 閉会

【事務局】どうもありがとうございました。次回3/8（火）18時半から、最終回を3/10（木）18時半から開催です。以上です。